

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025年2月19日

訪日外客数（2025年1月推計値）

◇1月：3,781,200人、単月過去最高を大幅に更新

- 1月の訪日外客数は3,781,200人で、前年同月比では40.6%増となった。過去最高であった2024年12月の3,489,800人を大きく上回り単月過去最高を記録し、単月として初めて370万人を突破した。
- 2024年は2月であった旧正月（春節）が今年は1月となり、アジアの多くの市場で旧正月に合わせた旅行需要の高まりがみられたほか、ウィンタースポーツ需要等により豪州や米国などを中心に前年同月に比べ一層の旅行者数の増加があったことなどが今月の押し上げ要因となった。
- 23市場のうち3市場（韓国、台湾、豪州）で単月過去最高を更新したほか、17市場（中国、香港、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、インド、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、北欧地域、中東地域）で1月として過去最高を記録した。
- 2023年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2025年）（PDF・Excel）」

* 最新の市場動向トピックスは下記リンク参照のこと。（※1・2月のトピックスは2025年4月上旬頃に掲載予定。）

<https://www.jnto.go.jp/statistics/market-info/market-topics/>

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2025年 訪日外客数・出国日本人数

2025 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization (JNTO)

(単位: 人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2024	2025	伸 率 Change %	2024	2025	伸 率 Change %
1 Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,200 *	40.6 *	838,581	912,300 *	8.8 *
2 Feb.	2,788,224 (2,548,085)			978,884		
3 Mar.	3,081,781 (2,771,105)			1,219,789		
4 Apr.	3,043,003 (2,763,384)			888,767		
5 May	3,040,294 (2,758,219)			941,709		
6 Jun.	3,140,642 (2,913,631)			930,229		
7 Jul.	3,292,602 (3,055,187)			1,048,823		
8 Aug.	2,933,381 (2,646,445)			1,437,126		
9 Sep.	2,872,487 (2,544,751)			1,212,545		
10 Oct.	3,312,193 (3,021,710)			1,148,502		
11 Nov.	3,187,175 (2,922,383)			1,175,117		
12 Dec.	3,489,800 *			1,187,207		
1～1 Jan.-Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,200 *	40.6 *	838,581	912,300 *	8.8 *
1～12 Jan.-Dec.	36,870,100 *			13,007,279		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2025年1月 訪日外客数（JNTO推計値）

Visitor Arrivals for Jan. 2025 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2024年 1月	2025年 1月	伸率(%)	2024年 1月～1月	2025年 1月～1月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,688,478	3,781,200	40.6	2,688,478	3,781,200	40.6
韓国	South Korea	857,039	967,100	12.8	857,039	967,100	12.8
中国	China	416,088	980,300	135.6	416,088	980,300	135.6
台湾	Taiwan	492,288	593,400	20.5	492,288	593,400	20.5
香港	Hong Kong	186,300	243,700	30.8	186,300	243,700	30.8
タイ	Thailand	90,585	96,800	6.9	90,585	96,800	6.9
シンガポール	Singapore	34,140	45,700	33.9	34,140	45,700	33.9
マレーシア	Malaysia	32,079	75,000	133.8	32,079	75,000	133.8
インドネシア	Indonesia	41,287	63,200	53.1	41,287	63,200	53.1
フィリピン	Philippines	56,776	72,200	27.2	56,776	72,200	27.2
ベトナム	Vietnam	44,602	50,400	13.0	44,602	50,400	13.0
インド	India	12,608	16,200	28.5	12,608	16,200	28.5
豪州	Australia	103,604	140,200	35.3	103,604	140,200	35.3
米国	U.S.A.	131,855	182,500	38.4	131,855	182,500	38.4
カナダ	Canada	31,672	42,300	33.6	31,672	42,300	33.6
メキシコ	Mexico	6,805	9,300	36.7	6,805	9,300	36.7
英国	United Kingdom	19,809	26,400	33.3	19,809	26,400	33.3
フランス	France	14,444	16,500	14.2	14,444	16,500	14.2
ドイツ	Germany	10,402	12,700	22.1	10,402	12,700	22.1
イタリア	Italy	6,879	8,800	27.9	6,879	8,800	27.9
スペイン	Spain	4,769	7,400	55.2	4,769	7,400	55.2
ロシア	Russia	3,242	4,900	51.1	3,242	4,900	51.1
北欧地域	Nordic Countries	7,439	9,200	23.7	7,439	9,200	23.7
中東地域	Middle East	5,886	11,900	102.2	5,886	11,900	102.2
その他	Others	77,880	105,100	35.0	77,880	105,100	35.0

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2024年の数値は暫定値、2025年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2024 are provisional, while figures for 2025 are the preliminary ones estimated by JNTO.

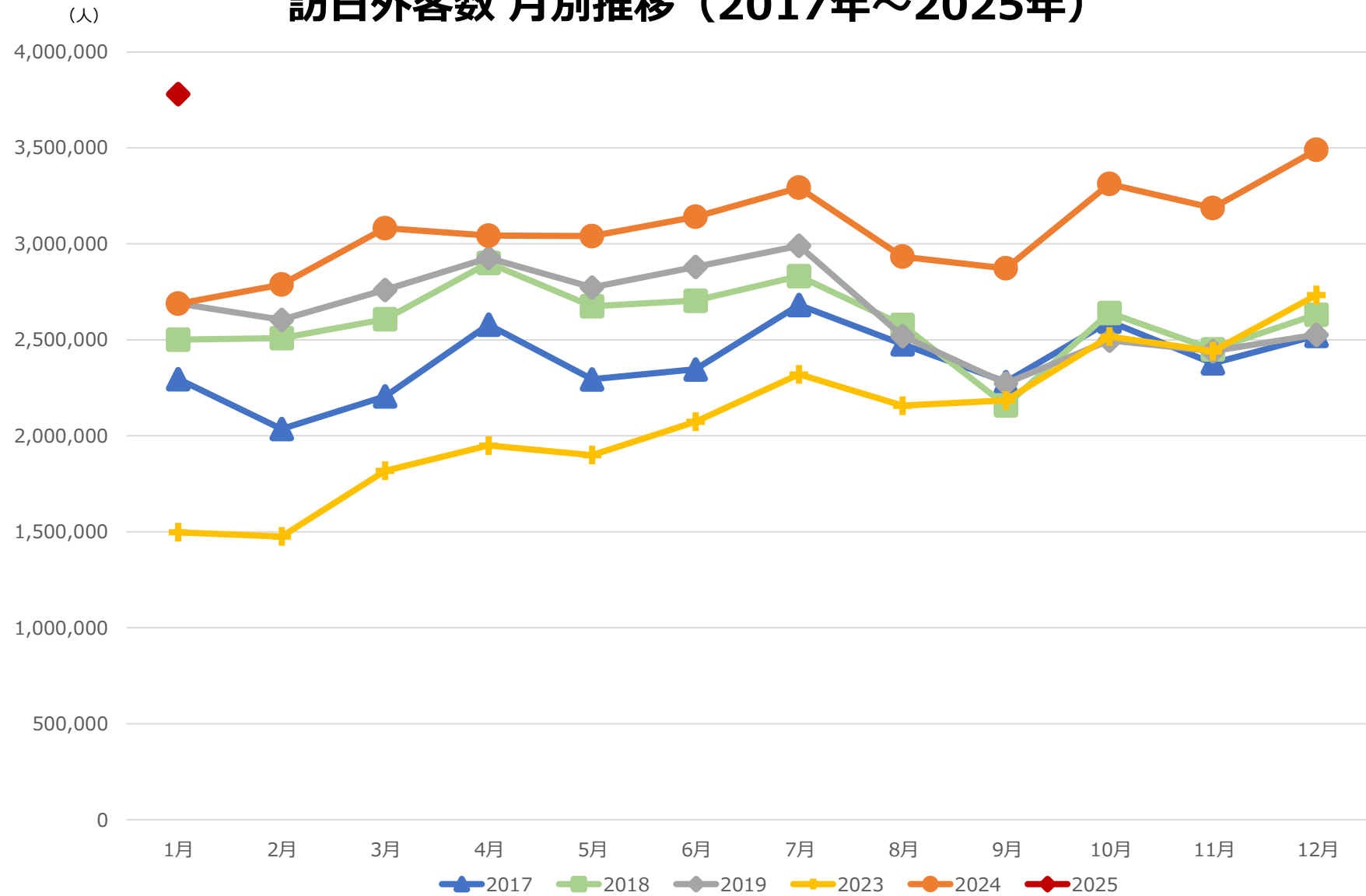
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2025年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2025年1月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2025年2月12日時点)としている。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航空路線で2025年1月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

全市場共通

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の拡大以降、航空・旅行会社を取り巻く人手不足や旅行費用の高騰等の課題が多く市場で見られている。また、欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。なお、多くの市場において円安傾向が続いている。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、967,100人(前年同月比 12.8%増)であった。為替レートがウォン安傾向になったものの、臨時公休日の追加により旧正月における海外旅行需要自体が増加したことや仁川～熊本間や仁川～新千歳間等の期間増便やチャーター便運航等の影響もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- 中国は、980,300人(前年同月比 135.6%増)であった。1月下旬から始まった冬休みと春節に加え、北京～新千歳間、上海～那覇間、広州～福岡間等の地方路線を含む増便等の影響や一部で旅行先を競合国から日本に変更する動きが見られたこともあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- 台湾は、593,400人(前年同月比 20.5%増)であった。1月下旬から始まった旧正月に加え、高雄～新千歳間や台北～北九州間等のチャーター便を含む地方路線による航空座席数の増加の影響もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- 香港は、243,700人(前年同月比 30.8%増)であった。1月下旬から始まった旧正月に加え、前年同月と比較して地方路線を含む増便等の影響により航空座席数が増加したこともあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。

② 東南アジア

- タイは、96,800 人（前年同月比 6.9%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり、消費者購買力の低下等あるものの、継続する冬季の日本人気や、バンコク～中部間の増便など、直行便数の増加等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- シンガポールは、45,700 人（前年同月比 33.9%増）であった。シンガポール～関西間などの直行便の増加、広告や旅行博等の各種プロモーションに加え、旧正月の影響等もあり、訪日外客数は 1 月として過去最高を記録した。
- マレーシアは、75,000 人（前年同月比 133.8%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等あるものの、クアラルンプール～新千歳間の増便、旧正月とスクールホリデーの重なりや、マレーシアリングット高騰等の影響もあり、1 月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、63,200 人（前年同月比 53.1%増）であった。割安な訪中旅行への人気の高まり等あるものの、ジャカルタ～羽田間の増便などによる直行便数の増加、航空機材の大型化等の影響や、祝日の影響もあり、訪日外客数は 1 月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、72,200 人（前年同月比 27.2%増）であった。マニラ～新千歳間の復便や好調な経済状況を背景とする海外旅行需要の増加の影響もあり、訪日外客数は 1 月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、50,400 人（前年同月比 13.0%増）※であった。割安かつ査証免除・取得が容易な東南アジアや中国等への旅行需要の高まり等あるものの、ダナン～那覇間のチャーター便の運航や旧正月の影響もあり、訪日外客数は前年同月比を上回った。

※ 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。

- インドは、16,200 人（前年同月比 28.5%増）であった。海外旅行ブームを背景とした旅行時期の分散や、ベンガルール～成田間の増便、経路便の利便性の向上等もあり、訪日外客数は 1 月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、140,200 人（前年同月比 35.3%増）であった。豪州からのアウトバウンド需要自体が増加している中、継続する訪日旅行の人気やウィンタースポーツ等を目的とした訪日需要とスクールホリデーに加え、前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- 米国は、182,500 人（前年同月比 38.4%増）であった。継続する訪日旅行の人気に加え、混雑するシーズンを避け 1 月に訪日する動きやウィンタースポーツ等を目的とした訪日需要もあり、訪日外客数は 1 月として過去最高を記録した。

- **カナダ**は、42,300 人（前年同月比 33.6%増）であった。継続する訪日旅行の人気に加え、前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **メキシコ**は、9,300 人（前年同月比 36.7%増）であった。継続する訪日旅行人気やスクールホリデーおよび年始休暇に加え、経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- **英国**は、26,400 人（前年同月比 33.3%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、特にスノー需要の伸びが増加に貢献したことや中国経由に加えてオランダ経由等の経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、16,500 人（前年同月比 14.2%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、スクールホリデーの有無に影響されない若年層を中心に訪日需要が高まったこともあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、12,700 人（前年同月比 22.1%増）であった。冬のロングホール旅行の需要は限定的であるものの、継続する訪日旅行人気や経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、8,800 人（前年同月比 27.9%増）であった。年末年始の休暇シーズンは1月初旬までであるものの、ロングホールの旅行先として日本が人気旅行先の一つとなっていることや2024年12月の羽田～ミラノ間の新規就航や経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、7,400 人（前年同月比 55.2%増）であった。2024年10月に再開した直行便によるアクセス性の向上と航空座席数の増加に加え、継続する訪日旅行人気や経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、4,900 人（前年同月比 51.1%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いている。

4. 北欧地域

- **北欧地域**は、9,200 人（前年同月比 23.7%増）であった。訪日旅行の人気の高まる中、2025年1月末からのストックホルム～羽田間の新規就航に向けた訪日旅行に関する報道等の増加もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- **中東地域**は、11,900 人（前年同月比 102.2%増）であった。スクールホリデーに加え、前年同月と比較して直行便数が増加したこと等の影響もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。